

- 問1 近畿地方の東部に位置する三重県の産業について述べた文として、地形や立地との関係が最も適切なものはどれですか。（2021年 東京都公立入試 類似）
1. 内陸部には世界的な企業の工場を含む輸送用機械の拠点が位置し、沿岸部には鉄鋼業が立地している。また、複雑に入り組んだリアス海岸では真珠の養殖業が盛んである。
 2. 干拓によって広げられた平野部で大規模な稲作が行われ、リアス海岸の入り江では、その激しい潮流を利用した遠洋漁業の基地が数多く整備されている。
 3. 山地を切り開いた扇状地での果樹栽培が盛んであり、沿岸部には石油化学コンビナートが集中する一方、内陸部では伝統的な繊維工業が現在も最も大きな割合を占めている。
 4. 広大な砂丘を利用したスプリンクラーによる農業が発達しており、内陸部では食料品工業、沿岸部では造船業がそれぞれ地域の主要な産業となっている。
- 問2 近畿地方の各府県を比較した統計において、人口密度が1平方キロメートルあたり300人未満という低い水準にある府県で見られる、人口増減率と高齢化率の特徴として正しいものはどれですか。（2015年 岡山県公立入試 類似）
1. 人口増減率がマイナス（減少）を示しており、高齢化率は地域内の平均よりも低い。
 2. 人口増減率がマイナス（減少）を示しており、高齢化率が地域内で最も高い水準にある。
 3. 人口増減率がプラス（増加）を示しているが、高齢化率は地域内で最も高い水準にある。
 4. 人口増減率がプラス（増加）を示しており、高齢化率が地域内で最も低い水準にある。
- 問3 2012年から2016年にかけての統計資料によると、東京都、北海道、大阪府のなかで、宿泊施設の客室稼働率が83.3パーセントと最も高い数値を示した自治体はどこですか。当時の延べ宿泊者数および外国人延べ宿泊者数がいずれも増加傾向にあった背景を踏まえて答えなさい。（2019年 大阪府公立入試 類似）
1. 沖縄県
 2. 大阪府
 3. 北海道
 4. 東京都
- 問4 東大阪市で行われている、中小企業のネットワークを活かしたもののづくりの事例と、その産業構造上の特徴について述べた文として正しいものを次の中から選びなさい。（2020年 群馬県公立入試 類似）
1. 1事業所あたりの従業員数は比較的少ないが、各企業が専門技術を分担し、人工衛星などの製造に関わっている
 2. 新幹線の部品などの精密な製品は、技術漏洩を防ぐためにすべて特定の巨大企業が独占的に製造している
 3. 1事業所あたりの従業員数が非常に多く、大規模な工場での自動化による大量生産を主な強みとしている
 4. 企業間の連携を禁止し、それぞれの企業が独立して独自のブランド製品のみを市場に供給している
- 問5 香川県や岡山県など、瀬戸内海に面した地域で全国的に見ても「ため池」が非常に多く作られている理由として、最も適切な説明はどれですか。（2023年 兵庫県公立入試 類似）
1. 年間を通じて降水量が少なく、稲作などに必要な農業用水を確保するために水を貯めておく必要があるから。
 2. 急峻な地形により河川の長さが短く、生活用水を確保するための小規模なダムとして利用するため。
 3. 冬の季節風による降雪量が多く、春先の雪解け水を一時的に貯蔵して洪水被害を防ぐ必要があるから。
 4. 大規模な灌漑施設の整備が困難な山間部において、地下水を汲み上げて貯蔵しておくため。
- 問6 滋賀県にある主要な城郭の変遷をたどると、戦国時代初期の小谷城などは険しい山の上に築かれていましたが、その後の長浜城、彦根城、安土城、大溝城、坂本城はいずれも琵琶湖の湖岸近くに位置しています。このように、有力な武将たちが拠点を湖岸へと移していった歴史的背景に関連する記述として、誤っているものはどれですか。（2024年 滋賀県公立入試 類似）
1. 船を活用することで、陸路よりも大量の兵員や重い軍需物資を迅速に輸送することが可能であった。
 2. 城の周囲に水を引き込んだり湖に面したりすることで、敵による包囲や攻城を困難にする防御上の利点があった。
 3. 湖上の交通の要所を支配することで、年貢や特産物の流通を管理し、経済的な利益を得る目的があった。
 4. 当時は鉄砲が伝来する前であったため、矢の届かない広い水面を確保して安全に生活することが唯一の目的であった。
- 問7 温州みかんの生産量で全国1位の和歌山県や、それに続く愛媛県、静岡県といった地域に共通する、みかんの栽培に適した自然条件や地形の工夫として最も適切なものはどれですか。（2021年 鹿児島県公立入試 類似）
1. 冬の寒さが厳しく、病害虫の発生を抑えられる降雪量の多い地域を利用している
 2. 日当たりが良く、水はけの優れた沿岸部などの山の斜面を利用している
 3. 稲作が困難なほど降水量が少ないため、灌漑設備を整えた広大な平野を利用している
 4. 冷涼な気候を好み、昼夜の温度差が激しい標高の高い火山灰土の高原を利用している
- 問8 大阪府の産業と人口の特徴について述べた文として、最も適切なものを選択肢から選びなさい。なお、大阪府の統計では、製造品出荷額が約17兆円と極めて高い一方で、農業産出額は約300億円と非常に少なく、昼間人口比率は104.4という数値を示しています。（2025年 和歌山県公立入試 類似）
1. 農業産出額が全国的に高いため、食料自給率が非常に高い産業構造である
 2. 郊外への人口流出が激しいため、昼間人口比率が100を下回っている
 3. 製造品出荷額が低いため、サービス業よりも農業に従事する人口が圧倒的に多い
 4. 周辺地域から通勤・通学者が流入するため、昼間人口が夜間人口を上回っている
- 問9 近畿地方の地形的な特徴を、土地の高さを示す断面図から読み取る場面を想定します。三重県東部を南北に結ぶ断面や、和歌山県の紀伊山地を南北に貫く断面では、標高の高い険しい山地が連続する様子が見られます。これに対し、大阪周辺を東西に結ぶ断面において、中央部分に広がる平坦な地形の名称として最も適切なものはどれですか。（2024年 群馬県公立入試 類似）
1. 大阪平野
 2. 志摩半島
 3. 濃尾平野
 4. 京都盆地
- 問10 兵庫県の工業について、瀬戸内海の臨海部と、綿織物などの伝統が残る内陸部や諸地域の産業構造を説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2023年 兵庫県公立入試 類似）
1. 内陸部に大規模な石油精製施設が集中する一方、臨海部ではタオルなどのブランド化された繊維工業が中心となっている。
 2. 播磨や阪神の臨海部では伝統的工芸品の生産が中心であり、但馬や丹波の内陸部で重化学工業が発達している。
 3. 臨海部では石油化学コンビナートなどの重化学工業が発達する一方、内陸部では地域に根ざした地場産業が受け継がれている。
 4. 県内全域で先端技術産業への転換が進んだため、伝統的な地場産業や重化学工業の製造品出荷額は大幅に減少している。
- 問11 和歌山県において、ミカンの栽培が盛んに行われている理由を説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2025年 千葉県公立入試 類似）
1. 冬の積雪から果実を守るために、ビニールハウスなどの施設を利用した促成栽培が中心となっている。
 2. 黒潮の影響による温暖な気候と長い日照時間を活かし、水はけの良い傾斜地で栽培されている。
 3. 夏の季節風による多雨と、広大な平野部にある肥沃な土壌を利用して栽培されている。
 4. 冷涼な気候を好み果樹であるため、標高の高い山地や高冷地を拓いて大規模に栽培されている。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 内陸部には世界的な企業の工場を含む輸送用機械の拠点が位置し、沿岸部には鉄鋼業が立地している。また、複雑に入り組んだリアス海岸では真珠の養殖業が盛んである。	三重県の内陸部（鈴鹿市など）には自動車関連の輸送用機械の工場が集積しており、伊勢湾に面した沿岸部には四日市市などを中心に鉄鋼業や石油化学工業が立地しています。また、県南部の志摩半島は、小さな岬と入り江が複雑に入り組んだリアス海岸となっており、波が穏やかな環境を利用した真珠の養殖業が古くから有名です。
問2	答え 2 人口増減率がマイナス（減少）を示しており、高齢化率が地域内で最も高い水準にある。	人口密度が低い地域は、山間部などの過疎地域を抱えていることが多く、進学や就職に伴う若年層の都市部への流出が顕著です。その結果、総人口が減り続ける「人口減少」が進行するとともに、相対的に高齢者の割合が高まるため、統計上では人口増減率のマイナスと高齢化率の最高値が同時に現れる傾向があります。
問3	答え 2 大阪府	2010年代半ばの日本社会では、訪日外国人の急増に伴い主要都市の宿泊需給が逼迫しました。特に大阪府は、関西国際空港からのアクセスの良さや、周辺の観光資源との結びつきにより、統計上でも東京都を上回る非常に高い客室稼働率を記録しました。これは現代の日本地理における、インバウンド（訪日外国人旅行）による地域経済への大きな影響を示す代表的な事例です。
問4	答え 1 1事業所あたりの従業員数は比較的少ないが、各企業が専門技術を分担し、人工衛星などの製造に関わっている	大阪府の工業統計を見ると、1事業所あたりの従業員数が全国平均と比べても少ない傾向にあります。これは東大阪市に代表されるような中小企業の多さを示しています。こうした中小企業は、それぞれが「ネジ」や「金型」といった特定の専門分野に特化しており、それらの企業が連携して一つのプロジェクトに取り組むことで、新幹線や人工衛星といった高度な技術が必要な分野で活躍しています。
問5	答え 1 年間を通じて降水量が少なく、稲作などに必要な農業用水を確保するために水を貯めておく必要があるから。	瀬戸内海沿岸の地域は、北側の中国山地と南側の四国山地に挟まれているため、季節風が運んでくる湿った空気が山地で遮られます。これにより年間を通じて降水量が少なくなる「瀬戸内気候」の特徴を持ちます。特に夏場に農業用水が不足しやすいため、古くから多くの「ため池」を建設することで水を確保してきました。
問6	答え 4 当時は鉄砲が伝来する前であったため、矢の届かない広い水面を確保して安全に生活することが唯一の目的であった。	安土城や長浜城が築かれた時代は、すでに鉄砲が合戦の主力となっており、城の構造も鉄砲戦を意識したものに变化していました。湖岸への立地移動は、単なる安全確保（生活の場）のためではなく、水運による「流通の支配」と「迅速な軍隊移動」という、天下統一に向けた政治的・経済的な戦略に基づいたものです。一方、以前の山城（小谷城など）は、交通の利便性よりも山岳地形を利用した防御に特化したものでした。
問7	答え 2 日当たりが良く、水はけの優れた沿岸部などの山の斜面を利用している	みかんは温暖な気候を好み、特に成長期に十分な太陽光を浴びることと、根腐れを防ぐために水はけが良いことが栽培の条件となります。和歌山県や愛媛県では、海岸に近い山の斜面を階段状に切り拓いた段々畑にすることで、効率よく日光を当て、余分な水分が自然に流れ落ちるように工夫されています。
問8	答え 4 周辺地域から通勤・通学者が流入するため、昼間人口が夜間人口を上回っている	大阪府は近畿地方の経済や教育の中心地であり、兵庫県や奈良県などの周辺地域から多くの人々が仕事や通学のために流入します。そのため、昼間の人口を夜間の常住人口（常住人口）で割った「昼間人口比率」が100を超え、大都市圏の中心としての特徴が顕著に現れています。また、製造業が盛んで出荷額が高い一方で、都市化が進んでいるため農業産出額は極めて低いという都市型の産業構造を持っています。
問9	答え 1 大阪平野	近畿地方南部を占める紀伊山地などは標高が高く険しい地形が続きますが、大阪周辺は周囲を山地に囲まれつつも、東西方向に広大な平地が広がっています。この地形は大阪平野と呼ばれ、近畿地方の経済や交通の中心地として古くから発展してきました。
問10	答え 3 臨海部では石油化学コンビナートなどの重化学工業が発達する一方、内陸部では地域に根ざした地場産業が受け継がれている。	兵庫県の産業構造は地域ごとに特色があります。阪神・播磨などの臨海部では、大型船の入港に適した立地を活かして石油化学コンビナートなどの重化学工業が発達しました。これに対し、内陸部やその他の地域では、江戸時代からの綿織物の伝統を汲む繊維工業などの地場産業が今なお重要な役割を果たしています。
問11	答え 2 黒潮の影響による温暖な気候と長い日照時間を活かし、水はけの良い傾斜地で栽培されている。	ミカンの栽培には、年間の平均気温が高く、冬に氷点下になりにくい温暖な気候が必要です。和歌山県では、日当たりの良さに加え、水はけが重要視される果樹栽培の特性に合わせ、山が海に迫る地形を利用した傾斜地での栽培が発達しました。これらは品質の良いミカンを育てるための重要な地理的条件となっています。